

Title	東日本大震災時におけるTwitter上での流言の発生, 伝播, 消滅プロセス III
Sub Title	Birth, growth and death of eRumors during the Great East Japan Earthquake disasters : literature review and case studies, part III
Author	濱岡, 豊(Hamaoka, Yutaka) 菊盛, 真衣(Kikumori, Mai) 魏, 敏(Wei, Min) 林, 艶菘(Lin, Yanhong) 朱, 彦(Zhu, Yan)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2013
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.56, No.2 (2013. 6) ,p.51- 67
JaLC DOI	
Abstract	本稿では, 「マンガ『ONE PIECE』作者が15億円寄付」流言の事例を分析し, 続いてこれまでのすべての事例を通じた考察を行う。流言の生成, 変容については, TV報道が刺激的な映像を流すことによって不安が醸成される中で, ソーシャルメディアによって, 断片的な情報が収集され, 真実ではない詳細化が行われたと考えられる。流言の消滅については, TV報道のないTwitter上のみでの流言の場合, 真実をツイートすることが有効だが, TV報道されるような大規模な場合には, 第三者的な機関からの情報が重要であるといえる。マネジリアルインプリケーションや今後の研究課題についてもまとめる。
Notes	資料
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20130600-0051

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

資 料

東日本大震災時における Twitter 上での 流言の発生, 伝播, 消滅プロセス III

濱 岡 豊 菊 盛 真 衣
魏 敏 林 艶 菘
朱 彦

<要 約>

本稿では、「マンガ『ONE PIECE』作者が15億円寄付」流言の事例を分析し、続いてこれまでのすべての事例を通じた考察を行う。流言の生成、変容については、TV報道が刺激的な映像を流すことによって不安が醸成される中で、ソーシャルメディアによって、断片的な情報が収集され、真実ではない詳細化が行われたと考えられる。流言の消滅については、TV報道のないTwitter上のみでの流言の場合、真実をツイートすることが有効だが、TV報道されるような大規模な場合には、第三者的な機関からの情報が重要であるといえる。マネジリアルインプリケーションや今後の研究課題についてもまとめる

<キーワード>

災害流言, Twitter, 社会ネットワーク

1 はじめに

本稿では、濱岡ら(2013)、菊盛ら(2013)に続いて、「マンガ『ONE PIECE』作者が15億円寄付」の事例研究を行い、5つの事例を踏まえて考察する。

2 「マンガ『ONE PIECE』作者が15億円寄付」流言の事例

本節では「マンガ『ONE PIECE』作者が15億円寄付」流言の事例研究を行う。なお、Twitter

は公開されているものであるが、一般のユーザーについてはプライバシーに配慮して文中、表ではアカウントの3文字のあとに***のように表示し、図中においては、はじめの3文字のみを示す。ツイートについては誤記などがあるが、そのまま表記する。

1) 流言の概要

ここで注目する典型的なツイートは「RT @Sat***: 漫画ワンピース作者の尾田栄一郎さんが被災地へ15億円寄付したそうです。彼こそが正にルフィーになってる。素晴らしいですね! (ID = 46871799287398400)」である。

地震から3日経過した3月13日頃、企業や海外からの寄付金の話題が報道、ツイートされるよう

1) この事例は林がまとめた。

になった。その中で、「尾田さんが、15億円を被災地に寄付した」という流言が拡散した。しかし、電子掲示板2chでのネタであったことがユーザーによって確認され、訂正ツイートされるようになり、急速に消滅した。

この流言に関しては合計で27,852ツイートが投稿された。内容別では、「誤情報」7,298件に対して、「訂正」の方が16,925件と多く、「疑問」は684件と少ない。「関連」ツイートは2,945件であった(附表)。RTされたのは、18,038件であり流言ツイートの64.8%であった。投稿者数は21,972アカウントであり、一人あたり1.27件投稿したことになる。

2) RTされたメッセージ

RT回数が多いものをまとめた(表1)。RT回数が最も多い訂正ツイートは、2,575回RTされた。2位は999回RTされ、1位に比べると1,576回と大きな差がある。上位10ツイートのうち、誤情報流言は1件であり、371回しかRTされていない。なお、誤情報の元ツイートの発信者はkit**であるが、そのツイートは1回しかRTされなかったため、この表には含まれていない。

3) 時系列での発生状況

1分あたりのツイート投稿数を図1に示す。大きく2つのピークがあるが、3月13日18時頃のピークは誤情報による。2つ目の3月14日12時頃のピークは、ほぼ訂正情報であった。懷疑については早い段階から投稿され、他の事例よりは多いものの、訂正情報と比べると、数は少ないことがわかる。図1をみると、(尾田さんが15億円寄付)関連ツイートから誤情報ツイート、そして訂正ツイートへと主要な内容が変化していることがわかる。

4) 流言の形成プロセス

流言の形成を理解するために、関連するツイートを時系列で並べた(表2)。3月13日未明頃、『ワンピース』の作者尾田栄一郎さんが被災地に15億円寄付」というツイートが投稿された。その後、2chのニュース速報アカウントもほぼ同じ内容を投稿したが、RT数は多くない。さらに、同日18時54分に、Sat***がRTし、それが371回以上RTされて、この流言を広げた。²⁾

2) 元ツイートが削除されたので、いつ投稿されたかは判別できなかった。

図1 投稿数の推移(「ONE PIECE 作者が15億円寄付」流言関連)

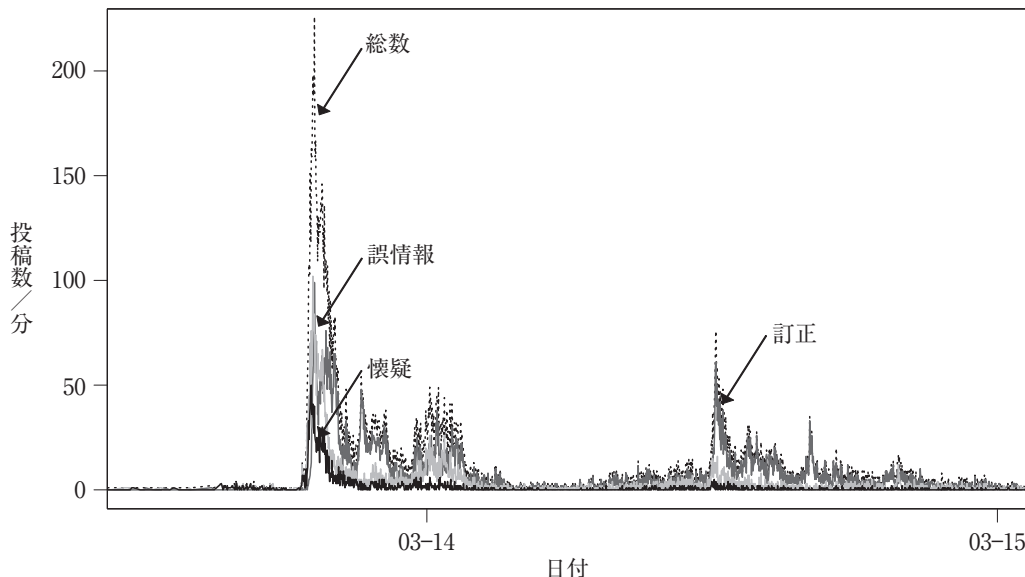


表 1 RT 回数上位のメッセージ（「ONE PIECE 作者が15億円寄付」流言関連）

初RT時点/ 内容	RT回数	初RT者	元ツイートアカウントとツイート	元ツイートアカウントの特徴	フォロアー数
3/13 20:35:30 (訂正 Tw)	2,575	114***	RT @e_mj***:【鬼RT騒】ワンピースの作者尾田栄一郎さんの寄付はデマです。なぜあんなにRTされたのにデマ報告はRTされないのか残念でならない。これが100リツイート以上になることを信じてます。	アカウント削除	アカウント削除
3/13 19:54:43 (訂正 Tw)	999	Rus***	RT @Pad***:【拡散希望】「ONE PIECE」作者・尾田栄一郎先生が寄付をするという類の話は誤報です。公式で発表された情報ではありません。過度な期待や賛辞は、尾田先生への寄付の強要になりかねません。拡散よろしくお願ひ致します。(2011年3月...)	一般ユーザー、漫画が好きな人	84
3/14 12:59:46 (訂正 Tw)	941	tey***	RT @aka***: 一応、コピペする。Twitter上のデマ一覽～東大合格者が入学取消/関西電力の節電呼びかけ/埼玉の水が危険/有害物質を含んだ雨/トルコが100億円寄付/政府が台湾の義援金拒否/尾田栄一郎が15億円寄付 本当だと思われのはロズウェル事件と...	編集者、ライター、漫画原作者	752
3/13 19:08:52 (訂正 Tw)	544	wak***	RT @c2_***: 尾田っち寄付はデマ 2chで「寄付したら～」というスレがたち、派生で生まれたツイートのようです。	原画家や漫画・挿絵・キャラデザ等	1,938
3/13 19:27:16 (訂正 Tw)	534	186***	RT @wor***:【超拡散希望！】ONE PIECEの作者尾田栄一郎さんが15億円寄付はデマの可能性があまりです！今すぐRT提出して下さい。ツイートした人が2chのデマと認めました。	一般ユーザー、漫画が好きな人	515
3/13 19:31:52 (訂正 Tw)	452	y0t***	RT @wor***:【超拡散希望！】ONE PIECEの作者尾田栄一郎さんが15億円寄付はデマです！今すぐRT停止して下さい。ツイートした人 (@oyay***) が2chのデマと認めました。	一般ユーザー	268
3/14 12:07:28 (訂正 Tw)	407	ken***	RT @kop***: 注意・尾田栄一郎の義援金15億円の話と、これからの雨には当たらない方がいいという話はデマだそうです。	面白いコピペを紹介する公式的なアカウント	120,081
3/13 18:54	371	217***	RT @Sat***: 漫画ワンピース作者の尾田栄一郎さんが被災地へ15億円寄付したそうです。彼こそが正にルフィーになってる。素晴らしいです！	クリエイター 集団代表兼webデザイナー	7,535
3/14 14:00:02 (訂正 Tw)	369	rap***	RT @jin***: これが今このデマ一覽。RT @of*** デマ一覽 東大合格者が入学取消/関西電力の節電呼びかけ/埼玉の水が危険/有害物質を含んだ雨/トルコが100億円寄付/政府が台湾の義援金拒否/尾田栄一郎が15億円寄付	アカウント削除	アカウント削除
3/13 19:08:04 (訂正 Tw)	347	asu***	RT @dul***: 尾田栄一郎先生の寄付の話はソースがありません。2chでそういうスレが立っただけですよ。	声優が好きな人、今ツイートは非公開である	451

注) (訂正 Tw) とあるのは訂正ツイート。特に記していないのは誤情報。◎は誤情報流言のうちもともと早くツイートされたもの。

9桁の数字はアカウント名との対応ができなかったものであり、その後、アカウントが削除されたものと考えられる。

フォロアー数は2012年10月時点。

なお、今回の流言には含めていないが、尾田栄一郎氏については、地震発生直後から安否を気遣うツイートが投稿され、RTされた。ただし、本人に確認したら元気だとすぐに返答があったというツイートが直後に流れたことから、急速に消滅した。

5) 流言の内容と変容

流言の形成を理解するために、関連するツイートを時系列で並べた。(a)については、尾田栄一郎さんが15億円を寄付という内容を投稿したものであり、(b)はこれが2chに書き込まれ、それが「2ch/ニュース速VIP」のアカウントによってツイートされたものである。(c)では、尾田さんの寄付金額を企業の寄付金額と比較し、その多さを賞賛している。(d)(e)とも、同様に、投稿者の評価や尾田さんの言葉も付加された。

- (a) 2011-03-13 0:35:17投稿者 = kit*** RT = 1 (回)「ワンピースの作者 尾田栄一郎氏、地震の被害者救済に15億円を寄付 (ID = 46595122875482100)」
- (b) 2011-03-13 0:48:48投稿者 = 2ch_news4vip RT = 1 (回)「[2ch/ニュー速VIP]ワンピースの作者 尾田栄一郎氏、地震の被害者救済に15億円を寄付 勢:7,134 #2ch http://bit.ly/fFvsPm (ID = 46598523185135600)」
- (c) 2011-03-13 2:21:07投稿者 = 142*** RT = 1 (回)「RT @aki***: 小田栄一郎15億寄付とか!!! w パナソニックの5倍でw すげえな!!! (ID = 46621755418222500)」
- (d) 2011-03-13 18:54:42投稿者 = 217*** RT = 371 (回)「RT @Sat***: 漫画ワンピース作者の尾田栄一郎さんが被災地へ15億円寄付したそうです。彼こそが正にルフィーになってる。素晴らしいですね! (ID = 46871799287398400)」
- (e) 2011-03-13 19:27:38投稿者 = nat*** RT = 1 (回)「ワンピースの尾田栄一郎が15億円寄付だって!!! マジかっこよすぎる!!!!『自分が幸せになった』ということは、

世の中から受けたひとつの借りだ³⁾(ID = 46880087173373900)」

この他、メッセージの変容には以下のパターンがある。

・信じて、自分の感想などを付け加えるもの

(c), (d) のような、「w パナソニックの5倍でw すげえな!!!」, 「彼こそが正にルフィーになってる。素晴らしいですね!」など内容が付加されている。そのほか「すげえ(46601210098229200)」「すごいです!(46880907688284100)」「純粋にスゲえわ(46877681907806200)」をRTするとき自分の感想を付け加えることも多い。

・疑問や否定を呈するもの

「これは本当??? (46870810094338000)」「RT @_bra***: 嘘っぽくないですか? (46873491391266800)」「これ元が2ch だから本当かわからんです(46873658072891300)」「情報ソースあれば教えてください!(46875811806056400)」「しかしまだソースがなくガセの可能性あり(46877452705857500)」

・情報源について

(b) の「[2ch/ニュー速VIP)」のように情報の出所を付加している。この他にも、「ソースは私の友達のツイート(46797548253495200)」のように、情報源を付記するものがみられる。これは、友人の情報だから自分も信頼してRTする場合や、情報の信憑性を高めるため、もしくは自己の判断の責任を回避するためとも考えられる。

・強調

(c) と (d) にみられるように、「!!!」などを付け加えることによって、強調している。

・より詳細な情報の取り込み

(c) のように企業の寄付金額と比較したり、「台湾が2億8千万の義援金を! すげえ, 台湾超ありがてえ! って思った。(46671324776640500)」など海外の寄付金額との比較をするものがある。前述のように、尾田さんの言葉が付加されたものもある。

3) これは尾田先生の言葉ではないという指摘もある。

表 2 流言形成の背景（「ONE PIECE 作者が15億円寄付」流言関連）

日付と時刻	ツイート内容と ID
03/11 23:46:55	「今のところ尾田先生の安否についてのツイートは何も流れてませんTT ですが、ニュースで関東地方に住んでる死傷者は十数人くらいで尾田先生らしき人はいませんでした！多分、大丈夫だとは思いますが… (ID = 46220561625526272)」
03/12 0:07:30	「ふと気になったんで、ワンピース作者、尾田栄一郎氏にメールしてみた。3分ぐらいで「大丈夫で一す」と返事がきた。日本を元気にできる男が無事で良かった！ (ID = 46225742366904320)」
03/13 0:35:17	「ワンピースの作者 尾田栄一郎氏、地震の被害者救済に15億円を寄付」 (ID = 46595122875482100)」
03/13 0:48:48	「[2ch/ ニュー速 VIP] ワンピースの作者 尾田栄一郎氏、地震の被害者救済に15億円を寄付勢 :7,134 #2ch http://bit.ly/fVsPm” (ID = 46598523185135600)」
03/13 18:54:42	「RT @Sat***: 漫画ワンピース作者の尾田栄一郎さんが被災地へ15億円寄付したそうです。彼こそが正にルフィーになってる。素晴らしいですね！」 (ID = 46871799287398400)」

6) 消滅プロセス

2011年3月13日1時55分10秒頃、最初の誤情報が投稿された約1時間後、その流言の内容は真実ではないというツイートが投稿された。しかし、その後も誤情報ツイートは投稿された。なお、他の事例よりも、懐疑ツイートが多く投稿されたという特徴がある。同日19時10分頃、この流言のソースとなる2chの書き込みが発見され、その流言が虚偽であることを確認したというツイートが投稿された。

さらに同日19時54分に、ある漫画好きな一般人 e_m*** が流言の内容は誤報であり、尾田先生への寄付の強要になりかねないと訂正するようツイートした。

oya***, Sat*** など誤情報の発信者は自分の元ツイートを削除し、訂正情報を投稿した。例えば、Sat*** は同日の20時35分30秒に「RT @e_m*⁴⁾ **: 【鬼 RT 願】 ワンピースの作者尾田栄一郎さんの寄付はデマです。なぜあんなに RT されたのにデマ報告は RT されないのか残念でならない。これが100リツイート以上になることを信じてます。」とツイートした。さらに、3月14日16時5分40秒に lev*** が、「ワンピースの出版社である集英社から、尾田栄一郎さんの寄付の件はチェーンメールだという確認がとれました。」これは公

4) 元ツイートとアカウント両方が削除されていたので、具体的発信時間と発信者の特徴について分析は不可能だが、この人が投稿した誤情報も多く RT された。デマという事実確認した後、元の誤情報を削除して、訂正情報を投稿した。

式情報と考えられ、この後、「尾田栄一郎さんの寄付の件」とツイートされた。これらによって、流言は急速に消滅した。

7) 送信者の特徴

多く RT されたツイートの発信者について、プロフィール、フォロワー数をまとめた(表1)。漫画の作者に関連する流言なので、漫画とアニメに関わる発信者が多い。RT回数上位10位のメッセージの中で、唯一の誤情報の発信者は、フォロワー数が7,535人であり、ある程度の有名人といえる。一般ユーザーについては、フォロワー数も多くはなく、いわゆる他者に情報だけでなく影響を与えるという「オピニオン・リーダー」や多くの人とつながりをもっている「ネットワークのハブ」といったタイプの者ではないことがわかる。

ただし、RT回数上位のツイートの発信者のフォロワー数は比較的多くなっており、社会ネットワーク上で多くの者と結びついている者がより重要な役割を果たしたと考えられる。

8) RT回数の多いアカウント別のRTの伝播状況

RTされた回数上位10アカウントについて、時間的な累積投稿数を図示した(図2)。いずれも急速に広がっていることがわかる。

9) 社会ネットワーク特性

社会ネットワークの大きさは24,416人であった(附表参照)。互酬性が成立したペア285に対して、

非対称なペアは26,163あり、一方的にツイートされていることがわかる。このため、社会ネットワークの密度も $8.87E-05$ と低くなっている。ただし、社会ネットワークの結合度は0.45であり、それほど低くはない。これは次数の大きなアカウントがいくつもあり、社会ネットワーク全体の結合度を維持しているためである。

出次数が最大なのは、e_m***というユーザーであり、3,313アカウントにRTされた。一方、入次数が最大なのは、渋谷にあるBARで働いている男性(you***)であり、72アカウントにRTされた。この事例では、(1)誤情報をRTする人は、自分の感想を加えることが多く、(2)訂正情報をRTする人は、積極的に情報を拡散しようとする傾向がある。

10) 社会ネットワーク

誤情報と訂正情報が半々となった前期と訂正情報が主流となった2つの期間にわけて、社会ネットワーク指標を算出した(附表)。前期において、

メッセージが多かったことを反映して、社会ネットワークのサイズ(人数)も前期の方が多。前期の方が互酬性、ネットワークの結合度も高くなっている。つまり、前期の方が人数も多く、密度の高いコミュニケーションをしたといえる。

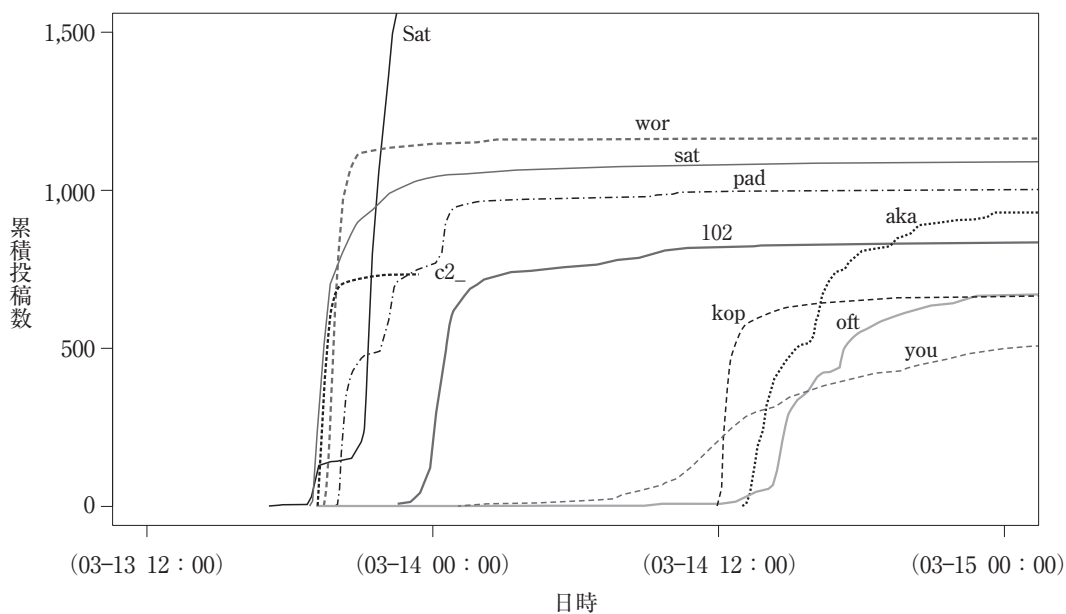
このことは、社会ネットワーク図からもわかる(図3)。前期についてはe_m***が中心となったネットワークとなっており、ここからの情報が広がっていったことがわかる。これに対して、後期についてはaka***とkop***の2人が中心となり、それぞれがクラスターを形成している。それぞれを中心とした、ある程度限定されたアカウントの間でRTされたことを示している。

11) 本事例のまとめ

・流言の発生、成長、消滅プロセス

この事例は震災後、企業や、他の国から被災地への寄付金に関する内容が話題になってきたことを背景として生じたと考えられる。基本的な内容はあまり変わらないが、情報源の追加、自分の感

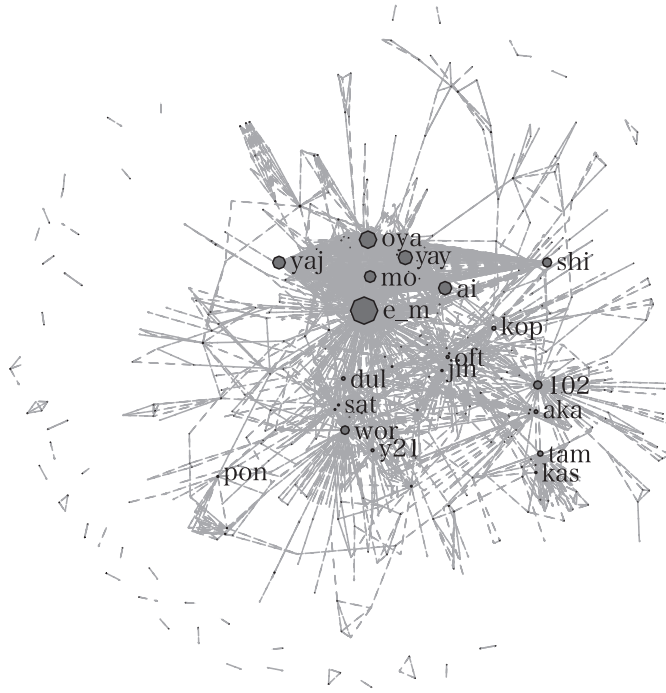
図2 RT回数上位15アカウント毎の累積RT回数の推移(「ONE PIECE 作者が15億円寄付」流言関連)



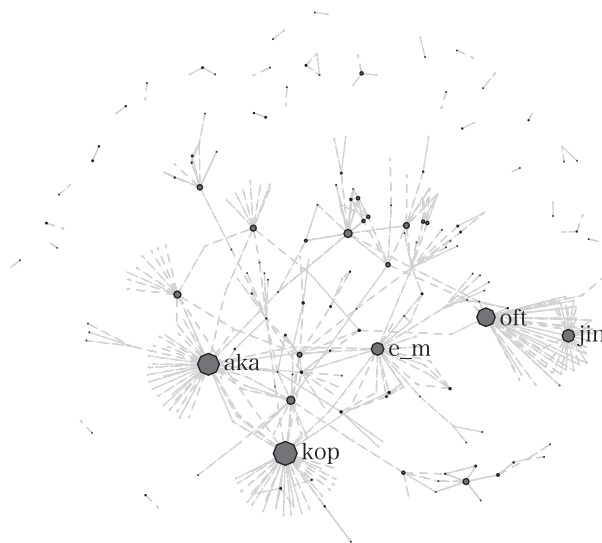
注) ラベルはアカウント名であり、初投稿時刻を横軸、最終的な累積RT回数を縦軸にとってある。Sat***からのツイートは2,575回RTされたので、上限が表示されていない。

図3 流言伝達の RT 関係社会ネットワーク (「ONE PIECE 作者が15億円寄付」流言関連)

(a) 誤情報と訂正情報が半々となった期間



(b) 訂正情報が主流となった期間



注) 煩雑になるので, (a) は出次数50以上かつ入次数5以上のノードのみ表示し, (b) は出次数10以上かつ入次数3以上のノードのみ表示した。孤立者は表示していない。ノードの大きさは出次数に比例している。

想などの追加といった形で変化するものがあった。そのプロセスにおいて、流言に関する疑問や訂正情報が増加した。

この点からすると、形態的な変化は Allport and Postman (1947) の指摘する方向に変化しつつあるように見える。ただし、一人あたり投稿回数も1.27程度であり、社会ネットワークにみられるように、相互のメッセージのやりとりを通じた熟議はなされていない。

一方、消滅については、流言のソースは2chの書き込みであることが確認され、誤情報の発信者は元の誤情報を削除し、訂正情報も多くツイートされた。本人や出版社の公式なツイートはなかった⁵⁾ので、Rosnow and Fine (1976) や Kapferer (1990) が指摘する、信頼できる権威の確立による流言の抑制にはあてはまらない。

・投稿者の特性、社会ネットワーク上のポジションの関係

流言の発信元は一般の者であるが、本事例は漫画の作者に関連するため、漫画やアニメに関わる者が多くツイートしたことが特徴である。また、一般ユーザーではあるが、フォロワー数の多いアカウントが上位におり、社会ネットワーク上で多くの者と結びついている者、いわゆる「ネットワークのハブ」がより重要な役割を果たした。

3 まとめと考察⁵⁾

本研究では、流言に関する先行研究をレビューした後、Twitterにおけるツイートのアーカイブを用いて、「コスモ石油爆発と有害物質」「放射能にはイソジンが有効」「サーバールームで下敷き」「ヘリコプターからの救援物資投下禁止」「マンガ『ONE PIECE』作者が15億円寄付」という5つの流言について事例分析を行った。

表3に事例の基礎データなどをまとめた。ツイート数、投稿者数などは「コスモ石油」「イソジン」が多くなっている。それぞれ、石油コンビナートの火災や爆発、原発の危機がTVによって報道され、広く認知されたこと、また後述するように自分への影響も危惧されたためだと考えられ

る。これに対して「サーバールーム」「ONE PIECE」については、TV報道もされずTwitter上での限定的な流言であったと考えられる。

1) 事例のまとめ

5つの事例について表3にあるように、流言の「発生」「変容」「伝播」「消滅」の各プロセスの特徴をまとめる。

・流言の発生プロセス

5つとも災害時に生じた流言であり、東北や千葉での石油コンビナートの火災や流失、原発の危機、ヘリコプターによる物資投下、寄付が目されたタイミングで発生している。コスモ石油の事例で実証したように、TVによる火災などの報道の影響が大きいと考えられる。

流言の発信者については、ヘリコプターの事例を除いて、フォロワーも少ない一般の者である。マーケティングでは、他者に影響や情報を与える「オピニオン・リーダー」に注目されてきたが、ここでの発信源はオピニオン・リーダー度は高くはなさそうであり、情報の内容が重要であると判断されてRTされるものと考えられる。

発信の動機については、メッセージから判断するしかないが、「サーバー」「ONE PIECE」については、悪ふざけの可能性が高いが、それ以外については、他者への配慮があると考えられる。

・流言の内容と変容

Allport and Postman (1947) は、うわさの変容について、話者が重要もしくは伝達しやすい内容に絞り込まれる「平均化／単純化 leveling」、伝達の過程で、重要だと思われる点が強調されたり、大きさや数がだんだん増加する「強調化 sharpening」、話者になじみのある内容に変化したり、より一貫性がある内容、社会の信念体系に則った方向に「同化 assimilation」することを指摘した。

ここでの流言はTwitterでテキストとして伝達されたものであり、メッセージの変化は大きくはない。つまり、「信じて、感想などを付加」「疑問や否定」「文字等による強調」「地域の拡大」などはあるものの、情報が欠けたり単純化していくという変化はみられない。

逆に、「情報源を付加」「より詳細な情報の取り込み」など、より詳細な内容になっていく傾向が

5) この章は各事例に基づいて濱岡がまとめた。

表 3 5 つの事例の比較とまとめ

分類	項目	コスモ石油爆発と有害物質	放射能にはインソジンが有効	サーバールームで下敷き	ヘリコプターからの 救援物資投下禁止	マンガ「ONE PIECE」 作者が15億円寄付
基礎データ	対象ツイート数	155,371	167,666	13,803	17,679	27,852
	懐疑 誤情報 訂正 関連 1 回以上 RT	0.20%	0.40%	0.20%	0.07%	2.46%
		14.54%	4.11%	24.44%	80.29%	26.20%
		41.90%	35.30%	66.30%	4.81%	60.77%
43.35%	60.19%	9.05%	14.83%	10.57%		
55.98%	65.50%	93.52%	97.00%	64.76%		
投稿者数	120,119	107,257	12,995	16,755	21,972	
一人あたり投稿数	1.29	1.56	1.06	1.06	1.27	
ピーク時投稿数	誤情報	432	163	161	349	148
	訂正情報	450	416	352	25	112
発生時		石油コンビナート、火災な とを継続して報道	原発危機を継続して報道	—	ヘリコプター、救援物資に ついでの報道	—
消滅時		訂正情報を数回放送	訂正情報を数回放送	—	—	—
流言の背景	発生	地震直後に発生したコンビ ナートの火災、爆発のテレ ビ映像の影響が大きいの 一般の者(当時女子高生)	福島原子力発電所の災害に より、原発の爆発、放射性 物質の放出が危惧された。 一般の者、投資会社役員	地震直後にツイートしてお り、発信者の悪ふざけによ ると考えられる。 一般の者	被災地への物資供給が困難 である頃に発生。 企業創業者	地震発生から数日後、海 外、企業による寄付が話題 となっていた頃に発生。 一般の者
	流言の発信者	不明 フォロアー数 元ツイート 発信の動機	不明 削除済み 他者への配慮	不明 削除済み 悪ふざけ	削除せず 届かないことへの憤り	不明 削除済み 悪ふざけ
概要		水溶液→有毒物質のように 詳細化。	2, 3 滴垂らせばよい、のよ うに具体化、詳細化。	「助けてあげて」のよう な意見を付加する程度で、主 内容は悪ふざけ	「ひどい」のような意見を 付加する程度で、主内容は 悪ふざけ	「さすが先生」のよう な意見を付加する程度で、主 内容は悪ふざけ
	・信じて、感想などを付加	「気をつけて」「用心する よ」	「一応インソジン飲んでみた」「 インソジンを買わねば！」	「どなたか、助けてあげて 下さい」	「国 緊急措置して!」「す ぐ認めてほしい」など	「すげえな!」「素晴 らしい」
	・疑問や否定	「デマっぽい」「チェン メルっぽい」「公式ホー ムページには書いてない」	「デマっぽい」「情報のソー スはどこでしようか?」	「ちょっと待って」	「ほんまに空中投下禁止な ん?」	「これは本当?」「情報ソー スあれば教えてください」
・情報源を付加	「mixi から」「工場勤務の 人から」など。	URL の付加。「友人の放射 線科医よりの情報」	—	—	「[2ch/ ニュー速 VIP]」, 「ソースは私の友達のリッ イート」	

変容の例	・文字等による強調	「J」や【拡散希望】など。	—	【拡散希望】【緊急】	【拡散希望】などが主であり、「J」による強調は少ない。	「J」
	・地域の拡大	「千葉市内」→「千葉周辺」 水溶液→有毒物質。危険物 箇所→化学工場→コスモ石油	「とろろ昆布」→「乾燥昆布、トロロ昆布、乾燥ワカメ、いわし」。「イオンジ」→「イオンジ3滴」	—	—	—
伝播プロセス	RTした者	他者への配慮	他者への配慮	他者への配慮	他者への配慮	賞賛、悪ふざけ
	有名アカウソトによるRT 自分も影響を受ける内容か？	野球のダルビッシュなど。 受ける可能性のある(千葉、首都圏)。	—	歌手の西川貴教など。 歌手の西川貴教など。	元社長の堀江貴文など。 受ける可能性は低い。	—
消滅プロセス	RTされた訂正、誤情報ツイートの数	訂正ツイートが上位	訂正ツイートが上位	訂正ツイートが上位	誤情報ツイートが上位	訂正ツイートが上位
	真実確認の可能性	LPガスのコンピナートで、あり、爆発、燃焼しても有毒物質は発生しにくい。	放射線総合研究所などの専門家による解説。	明示された住所が存在しないこと、別アカウントで囁きのツイートであることを見つけた者が存在。	実際には投下が行われていないことが明らかになった。	2chの書き込みが流言のソースであることが確認された。
ワケ社会ネットワーク特性	訂正に寄与した者	浦安市広報、厚生労働省、NHKなど。	厚生労働省のアカウソト、NHK報道局科学文化部公式アカウントなど。	悪ふざけであることを見破った一般ユーザー。	実際には行われていないというツイートや、国土交通省からのニュースリリース。	悪ふざけであることを見破った一般ユーザー。
	最大出次数者	137,836 浦安市広報アカウント	120,106 NHK報道局科学文化部	15,595 流言の発信者	16,943 流言の発信者	24,416 流言の発信者
	最大入次数者	歌手の浜崎あゆみ	一般ユーザー(京都府在住)	同上	同上	一般ユーザー(BARで働いている人)

みられる。これらのうち、「友人から」「mixi から」のように「情報源を付加」するものについては、友人の情報だから自分も信頼して RT する場合や、情報の信憑性高めるため、もしくは自己の判断の責任を回避するためとも考えられる。

・伝播プロセス

RT した者の動機については、「ONE PIECE」の事例を除いて「他者への配慮」があると考えられる。情報源のフォロワー数は多くはないので、それを RT した者は、必ずしも発信源のフォロワーではない。このことは流言がツイッター上の関係を越えて広がったことを意味する。

ただし、「コスモ石油」の事例で紹介したように、他者に拡散を「依頼する者」が存在し、それに依頼されて実際に RT した有名人がいることも伝播には重要である。「コスモ石油」「サーバルーム」「ヘリコプター」については、誤情報を RT した有名人アカウントが存在した。一方、歌手の浜崎あゆみは、依頼されたが、RT しなかった。これは前述のように個人の情報リテラシーによると考えられる。社会ネットワーク上のポジションとあわせて、個人の能力についても考慮する必要がある。

・消滅プロセス

これら流言は、いずれも真実を伝える訂正情報が拡散したことによって消滅した。「サーバルーム」「ONE PIECE」の場合は、Twitter のユーザーが、虚偽情報であることを確認し、ツイートした。「コスモ石油」の場合、同社の公式ページではなく、浦安市公式アカウントからのツイートが多く RT された。同様に、「イソジン」についても厚労省のツイートが多く RT された。これらについては、両社には Twitter アカウントがない可能性もあるが、当時者が訂正するよりは、第三者的な機関が訂正した方が、より信頼性が高まると考えられる。これは、Rosnow and Fine (1976) や Kapferer (1990) が指摘する、信頼できる権威 authority の確立による流言の抑制という主張を裏付けるものである。

2) 考察

これらの事例を通じていくつかの考察を行う。

・発生源と RT した者の動機

5つの事例とも震災時に生じた流言であるが、ツイートした者について、(a) 発生源か RT した者か、(b) 直接被災した者（被災の可能性のある者も含む）か否かを区別する必要がある。まず、発生源と RT した者に分けて動機を考えてみよう。「サーバルーム」については、発生源の動機は悪ふざけの可能性が高い。一方、これを RT した者は、被害者を助けたいという「他者への配慮」が動機であると考えられる。

「コスモ石油」の発信源は「外出時に注意」とツイートし、「ヘリコプター」についても、被災者に物資が届かないという憤り、被災者への配慮が動機となっている。これらを RT した者についても同様であろう。「ONE PIECE」については、発信源、RT 者とも楽しみもしくは賞賛のために RT したと考えられる。このように、発生源と RT した者の動機が共通する場合と共通しない場合がある。ここでの事例からは後者の方が、より広まる傾向がある。

・流言する者の立場の違い

これらは、災害時に生じた災害流言ともいえるが、流言の発生源と RT する者が、災害に直接被災した者（被災する可能性を含む）なのか、そうでないかを区別することも重要である。「サーバルーム」「ヘリコプター」はいずれも、被災している（可能性のある）のはサーバルームで下敷きになっている人、被災地の人々であり、ツイートしている者は被災者ではない。これに対して、「コスモ石油」「イソジン」については、首都圏の住民を中心に自分自身もその被害を受ける可能性がある。これらの方がツイート数が多くなっているのは、自分自身や身近な者にも被害が及ぶ可能性があるためだと考えられる。

・マスメディアの機能不全

Shibutani (1966) は（マス）メディアが機能不全になったとき、それを補うために非公式な対人的コミュニケーションである流言が活性化するとした。廣井 (1986) は、大規模災害の場合には、これが顕著となり極端な流言も発生しうるとを指摘した。

東日本大震災当時、被災地においては、停電、火災、避難などによってマスメディアに接触することが困難になった。一方、ここでの流言を RT

した者の大部分は、被災地の居住者ではないと考えられる。彼(女)らにとって、停電はあったものの、TVをはじめとしたマスメディアは健在であった。それにも関わらず、TV報道は、いずれの放送局も似たようなものであり必要な情報が得られなかったと考えられる。

これを確認するために、濱岡(2012)は、JCC報道データを用いて、TV報道された言葉の数をカウントし、その割合を用いてエントロピーを算出した。これによって、震災直後から数日間はエントロピーが減少していたこと、つまり言葉=情報の多様性が低下していたことを明らかにした。さらに、遠藤(2012)は震災直後のマスメディアの映像、新聞の紙面などの報道内容を精査し、「すべての媒体が同じような画面を流しているのは、資源の浪費である(p.36)」と指摘している。

遠藤が指摘するように、震災から1週間程度のテレビでは、他の番組やCMが自粛され、報道番組と公共広告機構(AC)のCMばかりとなった。報道の内容も、被災地や原発の危機を伝える映像、情報がほとんどであった。いわば物理的な機能は喪失されなかったものの、特定の情報のみを伝え、他の情報を伝達しないという意味で機能が喪失されていたといえる。コスモ石油の事例で定量的に示したように、火災などの映像が不安を高め、これら流言の発生、成長の前提となった可能性が高い。

一方、有害物質は飛散しないことやイソジン服用には害があることについて、TVで報道されたのは数回のみであった。発生時と比べてその後についての報道が少ないこともマスメディアの大きな問題である。このように、ハードウェアは健全であったはずのマスメディアのソフトが機能不全に陥ったことは重要である。

・ソーシャルメディア

TV報道が類似した情報を伝達する一方で、Twitterでは、「爆音を聞いた」「水溶液が飛んできた」など、より詳細な情報がツイートされた。それらの多くの情報によって、流言は詳細化していった。ただし、このプロセスは、熟議という「相互行為」によって不確実性を低下させたり、意味を見いだすという、Shibutani(1966)が指摘する流言の成長、変容プロセスと2つの点で異

なっている。1点目は、詳細化したが、真実とは異なっていたことである。例えば、水溶液から有害物質へと詳細化したが、有害物質は放出されることはないので、真実とはかけ離れたまま、詳細化がなされたのである。2点目は熟議の不足である。一人あたりのツイート回数はいずれの事例も平均2回未満であり、ネットワークも疎であった。さらに、「コスモ石油」の時系列分析では、タイムラインに流れるツイートをそのままRTする傾向があることがわかった。流言について、細かく熟議されることはなく、自分の感想など付け加える程度で、簡単にRTされたと考えられる。

このようにマスメディアは不完全な情報を多量に伝達することによって不安という災害流言発生、成長の下地を形成し、一方でTwitterは、真実とはかけ離れたところで、詳細化、具体化を担うことになった。

・流言の生成、消滅プロセスにおける各メディアの役割

このように、マスメディアの情報が不安を形成し、なにかしらのきっかけで、図4で★で示される、真実とは異なった点が興味の中心となる。Twitterも詳細な情報を与えるが、誤情報を中心とした関連情報が収集され、そちらでの尤もらしさが増していく。このように、マスメディアとTwitterがともに情報を提供しながらも、真実とはかけ離れた内容の誤情報が形成されると考えられる。

・流言の定義、動機、分類

Knapp(1944)は、流言を伝達する動機に注目して「夏までにはドイツで革命がおきる」というような「願望流言 wish rumor」,「真珠湾で全艦隊が破壊された」というような「恐怖流言 bogie rumor」,「カソリックは徴兵を逃れようとしている」というような社会を引き裂く「分裂流言 wedge-driven or aggression rumor」に分類した。一方、Rosnow and Fine(1976)は楽しみとしての流言もあることを指摘した。

「ONE PIECE」は、楽しみとしての流言に属すると考えられるが、これ以外の流言は、「恐怖流言 bogie rumor」に近いものが多い。ただし、その動機に注目するとこれら4分類では不十分である。例えば「コスモ石油」「イソジン」「ヘリコプ

ター「サーバールーム」については、いずれも他者に注意を促し、助けたいという動機を読み取ることができる。

いずれにしても、「特定の政治的意図のもとに人びとを煽動しようとし、故意に事実を歪曲して民衆の間に流布される虚偽の言説(小川 (1971))」ではなさそうであり、ここで紹介した流言を「デマ⁶⁾」と呼ぶことは不適切である。

4 マネジリアルインプリケーションと今後の課題

1) マネジリアルインプリケーション

誤情報が発信された背景として、TV 報道が影響している。震災時にはヘルメットを被って報道し、火災や爆発など刺激的な映像が多用されたが、報道の内容に留意する必要がある。

また、「コスモ石油」の事例で実証したように、多くの人はタイムラインに流れる情報の確からしさを確認せずに RT する傾向がある。RT する前に、その確からしさを確認するリテラシーが必要であ

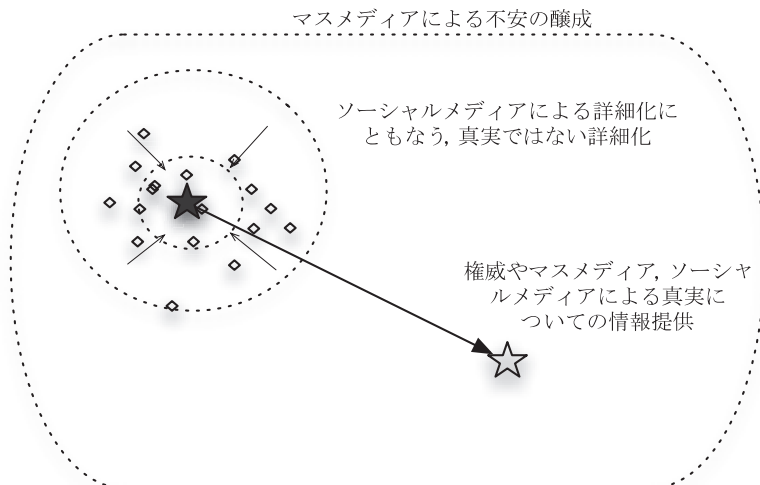
る。特に他者に RT を依頼したりするべきではないし、依頼されても、確からしさを確認せずに RT するべきではない。これらは簡単なようにみえるが、意外と難しいようである。

消滅については、コスモ石油の公式ページではなく、浦安市公式アカウントからのツイートが多く RT された。コスモ石油もホームページに情報を掲載したが、それについてのツイートは多くはない。イソジンについても厚生省のツイートが多く RT された。流言の対象となった者が否定するよりも、第三者、特に権威もしくは信頼性の高いアカウントだから信頼された可能性が高い。これは、Rosnow and Fine (1976) や Kapferer (1990) が指摘する、信頼できる権威 authority の確立による流言の抑制という主張を裏付ける。信頼できる情報を提供する第三者を整備する必要がある。

さらに、コスモ石油の時系列分析では、訂正情報は誤情報ツイートによって阻害されるが、誤情報を訂正ツイートで減少させることはできないことがわかった。残念ながら、誤情報がある程度ピークを越えたところで権威のある公式なアカウントから訂正ツイートを流すことが効果的であると考えられる。なお、深夜、早朝などツイート自体が少ない時間帯にツイートすることによって TL を専有することも有効だろう。

6) 例えば、荻上チキ (2011) や総務省 (2012) でも、デマという言葉が使われている。
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h23/html/nc143c00.html>

図4 流言の生成, 消滅プロセスにおける各メディアの役割



2) 今後の課題

Twitter アーカイブを用いることによって、流言の背景、発生、拡散から消滅にいたるプロセスを把握できた。ただし、削除されたツイートは入手できないという限界を指摘できる。5つの事例のうち、4つでは流言のオリジナルなツイート、さらにはアカウントも削除されていた。ツイート数を時系列でみると、4つの事例については、誤情報よりも、訂正情報の方がピークが高くなっていた。また、「コスモ石油」についてしか定量的な分析は行えなかったが、誤情報を送信した者のうち、訂正情報をツイートした者は20%程度しかいなかった。これらから、誤情報ツイートは、後で削除された可能性が高いことに注意する必要がある。削除されたツイートについては、Twitterの規約によって、外部に提供することや他のサイトに掲載することも許可されていない。このため、削除されたツイートについては対応できない状況である。このような限界があることを踏まえた分析が必要である。なお、元ツイートが削除されても、ここにみたように、それをRTしたツイートもしくは、「先ほどRTしたものは誤情報だった」というツイート内には、元のツイートが残されており、重要な手がかりを得ることができる。

本研究ではTwitterのみに注目したが、インターネット上でのメール、携帯メール、対面でのクチコミなどについても考慮する必要がある。個人的な経験だが、Twitterを使っていない家族は、携帯メールで「コスモ石油」のことを知った。これら他のメディアとの関係については、別途、事後的なアンケート調査などを併用する必要があるだろう。さらに、発信者の意図などは我々が文脈から解釈した。本来ならば、当事者にヒアリングや定量的な調査を行うべきである。

最後に、事例研究であり、理論的なフレームワークが存在しないことである。濱岡ら(2013)で流言についての様々な研究をレビューしたが、流言を統一的に説明できる理論は存在しない。ただし、流言の生成、消滅の特徴はKahneman and Tversky (1972, 1979), Tversky and Kahneman (1973)以降発展した「認知バイアス cognitive bias」という観点からある程度統一的に説明でき

る可能性がある。稀少事象の重視、損失の重視、わかりやすい手がかりの重視、など様々なバイアスがあるが、ここでの例では、「有害」という情報が得られた場合、その真実を確認することなく、有害であることを強化する情報が収集され精緻化されたと考えられる。このように行動経済学的な視点で流言研究を進めると、様々な現象を統一的に説明できる可能性がある。

また、Kahneman (2011)は人間の心には、2つのシステムがあるとす。1つ目は、意識することなく自動で迅速に反応するシステムであり、もう1つは、意識的に複雑な計算、処理を伴うシステムである。彼の啓蒙書のタイトル「Thinking, fast and slow」はこの2つのシステムの特徴を端的に示している。タイムラインに流れてきたツイートの真偽を確認することなく、他者を支援したいためにRTし、それが流言へと広まっていく。一見すると詳細な情報になり、もっともらしく見えるが、実は真実とは異なっている。これは、速い反射的な行動である。そのような処理が適切な場合もあるが、RTする前に、その情報の真偽を確認する、確認できなければRTしない、といったslow thinkingが必要であろう。一方で、個人で真偽が判定できない場合には、ここでの事例が示しているように、信頼性の高い第三者が正確な情報を提供することが望ましい。

3) おわりに

流言の発生や消滅は心理学、社会心理学をはじめ、マーケティングにおけるクチコミ研究にも影響を与えてきた。過去の流言研究は、発生後に口頭で調査する方法に依存していたために、その起源、変容、伝播経路などを特定することは極めて困難であった。本研究では3.11震災の初期に生じた流言に注目し、拡散や消滅プロセスについて事例分析を行うことによって、様々な知見を得ることができた。

ただし、本研究は5つの事例にのみ注目した。今後、他の例も分析することによって知見の一般化、理論的な検討、データによる妥当性の検証を行う予定である。

謝辞

データを提供頂いた, Twitter Japan (株), JCC (株), 日本放送協会, Google (株) 賀沢様, およびデータ処理についてのスクリプトや情報を提供頂いた奥村晴彦先生 (三重大学), 岡崎直観先生 (東北大学), 311プロジェクトを企画運営された事務局の皆様感謝する。本研究の遂行には慶應義塾大学学事振興資金および科学研究費 (課題番号23530541) から助成を受けた。

参考文献

- Allport, Gordon and Leo J. Postman (1947), *The Psychology of Rumor*, New York: Henry Holt (南博訳『デマの心理学』岩波書店, 1958年).
- Doer, Benjamin, Mahmoud Fouz, and Tobias Friedrich (2012), "Why Rumors Spread So Quickly in Social Networks," *Communications of the ACM*, 55 (6), 70-75.
- Kahneman, Daniel (2011), *Thinking, Fast and Slow*, New York: Farrar, Straus and Giroux (村井章子訳『ファスト&スロー (上) (下): あなたの意思はどのように決まるか?』早川書房, 2012年).
- Kahneman, Daniel and Amos Tversky (1972), "Subjective Probability: A Judgment of Representativeness," *Cognitive Psychology*, 3 (3), 430-54.
- (1979), "Prospect Theory: An Analysis of Decision under Risk," *Econometrica*, 47 (2), 263-91.
- Kapferer, Jean-Noel (1990), *Rumors: Uses, Interpretations, and Images*, New Brunswick: Transaction Publishers.
- Knapp, Robert H. (1944), "A Psychology of Rumor," *The Public Opinion Quarterly*, 8 (1), 22-37.
- Rosnow, R. L. and G. A. Fine (1976), *Rumor and Gossip: The Social Psychology of Hearsay*, New York: Elsevier Scientific (南博訳『うわさの心理学』岩波書店, 1982年).
- Rosnow, Ralph L. and Eric K. Foster (2005), "Rumor and Gossip Research," *Psychological Science Agenda*, 19 (4)
<http://www.apa.org/science/psa/apr05gossipprt.html>.
- Shibutani, Tamotsu (1966), *Improvised News: A Sociological Study of Rumors*, Indianapolis: Bobbs-Merrill (広井脩, 橋元良明, 後藤将之訳『流言と社会』東京創元社, 1985年).
- Tversky, Amos and Daniel Kahneman (1973), "Availability: A Heuristic for Judging Frequency and Probability," *Cognitive Psychology*, 5 (2), 207-32.
- 遠藤薫 (2012), 『メディアは大震災・原発事故をどう語ったか』東京電機大学出版局.
- 小川肇 (1971), "デマ," 南博監修『マス・コミュニケーション事典』学芸書林, 484-85.
- 荻上チキ (2011), "荻上 blog 東北地方太平洋沖地震, ネット上でのデマまとめ."
<http://d.Hatena.ne.jp/Seijotcp/20110312/P1> (2012年10月1日アクセス).
- 菊盛真衣, 魏敏, 林艶菘, 朱彦, 濱岡豊 (2013), "東日本大震災時における Twitter 上での流言の発生, 伝播, 消滅プロセス II," 三田商学研究, 56 (1), 45-74.
- 総務省 (2012), "コラム 震災時における twitter の活用状況について," 平成23年度版 情報通信白書
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h23/html/ncl143c00.html>.
- 濱岡豊 (2012), "マスメディア/ソーシャル・メディアの連携と機能分担に向けて," in 東日本大震災ビッグデータ・ワークショップ, 東京大学
<http://dl.dropbox.com/u/1662337/311pjt1028hamaoka.pdf>.
- 濱岡豊, 菊盛真衣, 魏敏, 林艶菘, 朱彦 (2013), "東日本大震災時における Twitter 上での流言の発生, 伝播, 消滅プロセス I," 三田商学研究, 55 (6), 89-120.
- 廣井脩 (1986), 『災害と日本人——巨大地震の社会心理』時事通信社.
- 菊盛真衣 [慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程]
- 魏敏 [慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程 修了]
- 林艶菘 [慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程]
- 朱彦 [慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程 修了]

7) 残念ながら, ツイートの利用は2011年10月末までとされているため, このデータを用いて分析することは不可能となった。分析するためには, 再度, ツイートを収集する必要がある。

附表 各事例の主要指標など

項目		マンガ「ONE PIECE」										
キーワード (正規表現)	指定	尾田 One Piece.*作者 ワンピース.*作者 寄付 寄附 ワンピース15億										
	除外	コミック ジャンプ 録画 amzn Amazon AMAZON STRONG WORDS 無事 安否 安全 jim okay 心配 大丈夫 行方不明 不明? 失踪 どうなった よかった 良かった 生きて 到底死没 死亡説ながれる 通常運転 応援 元気 東北人 ホモ男 尾田君 尾田整形外科 尾田胃腸科 尾田の兄貴 尾田正子 真尾田 見尾田氏的な 尾田帰宅 通販 送料 業務連絡 連絡取れず 連絡とれず 連絡いれといて No lo crean っち.*(...っ。 ! の言い方 どうなの の仕事場) 声優 保茂 保毛 年収 全ての出会い 頼ろうとする 女川 愛宕小学校 イラスト 花澤香菜 めずらしいパンダ 信念 理性的 思想 政治に関連 インド育ち 結婚したんだ 結婚式夫婦画像 保存版 流行の検索 読んで 天佑日本 市川市 ブレないのが サイン #PINGOO 史上最大 IQが高いの ひげ ヒゲ ああ! キャラ 立ち上がる 立ち読み 作り上げた 中盤 二兎追って やっと家ついた 新感覚 総集編 表紙 完食 電気を消した 労働力 絶対みんな 高性能 アカウント委譲 真のテーマ ニア本 略奪者 DMなりりプライ 砥部町高 多様な笑い声 先週の木金土 描き切る またやらかした 全然泣きそう 出演予定 演出 @_ma***@pno*** アルト姫 高性能 皆様賛同 片付けたら 花とギター 岩手 自然じゃない 予言して 取材 家に行け 黒銅さん 結構楽しん 少年のもの タイミングよすぎ 漫画かけ 巻62 慰安旅行 変えたく パロック 名言集 心のある 京都限定 食える 「海賊王」作者被證實遇難 造谣 新海城 @Xit*** 新浪微博										
	懷疑	ソース.* (どこ 確認中 待ち 何処 なんですか ?) ほんと 本当か 本当? 疑問 誰が発表する まっじ マジ? マジか まじ 情報源 嘘だったら										
	訂正	誤報 デマ ソースがありません 嘘 信頼性.* (低い 薄い) 確実な情報ではありません 待って, ガセ うそらしいよ 不確定な情報										
	流言特定	(尾田 作者 ワンピース 15).* (15 寄付 募金)										
	概要	対象ツイート数	27,852									
懷疑ツイート数		684										
誤情報ツイート数		7,298										
訂正ツイート数		16,925										
関連ツイート数		2,945										
RT @が含まれている回数		0	1	2	3	4	5	6	7	8		
その度数		9814	13901	2706	921	266	100	46	96	2		
1回以上RTされたメッセージの数		18,038										
1回以上RTされたメッセージの割合		64.8%										
replyが含まれている回数		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
その度数		6921	15949	2898	1267	428	202	55	118	10	3	1
replyが含まれているメッセージ数		20,931										
replyが含まれているメッセージの割合		75.20%										
RTでもreplyでもない単なるツイート	6,921											
投稿者数	21,972											
一人あたり投稿数	1.27											
流言の発信者	kit***											
発信時刻	2011/3/13 0:35:17											
内容	ワンピースの作者 尾田栄一郎氏, 地震の被害者救済に15億円を寄付											
パターン 系列	誤情報投稿数ピーク時刻	(11-03-13 19:08:18)										
	同ピーク時投稿数	148										
	訂正情報投稿数ピーク時刻	(11-03-13 19:16:18)										
	同ピーク時投稿数	112										

全データ	社会ネットワークの大きさ	24,416
	互酬性	285
	非対称	26,163
	コミュニケーション無し	298,031,872
	密度	8.87E-05
	connectedness	0.4478
	最大出次数	3,313
	最大出次数の者	e_m***
	上記のプロファイル	アカウント削除
	最大入次数	72
社会ネットワーク	最大入次数者	you***
	上記のプロファイル	渋谷にある BAR で働いている人
	1 期日開始時間	150,000
	1 期日終了時間	230,000
	社会ネットワークの大きさ	575
	互酬性	126
	非対称	1,471
	コミュニケーション無し	163,428
	密度	0.0097
	connectedness	0.7743
期間 1 (誤情報中心)	2 期日開始時間	230,000
	2 期日終了時間	300,000
	社会ネットワークの大きさ	260
	互酬性	68
	非対称	218
	コミュニケーション無し	33,384
	密度	0.0085
期間 2 (訂正情報中心)	connectedness	0.5392